

広島県がん対策推進協議会 第3回計画策定会議（議事録要旨）

1 日時 平成19年12月27日（木）16:00～18:00

2 場所 県庁北館2階 第1会議室

3 出席委員

氏名	所属及び役職名	氏名	所属及び役職名
井内 康輝	広島大学大学院教授	井上 等	がん患者支援ネットワークひろしま理事
鎌田 七男	原爆被爆者援護事業団理事長	岸本 益美	県保健所長会会長
河野 修興	広島大学医学部長	迫井 正深	広島県福祉保健部長
高杉 敬久	社団法人広島県医師会副会長	中本 克州	呉市福祉保健部長
楯原 啓之	広島大学大学院臨床腫瘍学教授	福水 美恵	社団法人広島県看護協会副会長
本家 好文	県立広島病院 緩和ケア支援センター長	馬庭 恭子	ウイメンズ・キャンサー・サポート代表
森田 知夫	社団法人広島県歯科医師会専務理事		

4 議題 広島県がん対策推進計画（案）について

5 担当部署 広島県福祉保健部保健医療局医療対策室医療支援グループ
電話（082）513-3063（ダイヤルイン）

6 会議の内容

目標や取組みなどの記述、表現について

- 県民には「年齢調整死亡率の10%減少」の意味がまず分からないと思う。具体的に、何百人くらいが減るとか数字で表す方が良いのではないか。
- 「クリティカルパス」「5年生存率」「周術期」「集学的治療」など専門用語が多く、言葉のフォロー（用語解説）が必要ではないか。
- 個別目標には「5年以内」と明記するものとそうでないものがある。
- 個別目標の書きぶりだけ「である調」となっており、全体の書きぶりと異なる。
- コメディカルの定義が変わり、看護師・薬剤師は医療者（メディカル）の扱いになったと聞いており、看護師をコメディカルに含む表現はあまり適切ではないのではないか。
- 表4で専門医や認定看護師等の病院別の数を細かく書くのはどうか。県民から見ると多いほうが良い病院に見られる。また、緩和ケア認定看護師などは来年には今の何倍にも増える。
- 今はがんだけでなく医療自体が非常に危ない。広島から医者が減っている現状であり、県民、国民の並々ならぬサポートを求める意味からも、専門医などの数を個別に示して、実際に少ないことを伝えていきたい。
- 表4で拠点病院以外の「その他」についても、別表などで施設名を出して専門医などの配置の状況を詳しく記載されたい。

拠点病院以外のがん診療を行う病院の情報提供について

- がんに関する診療情報の開示などは拠点病院以外も進めていくという方向ではなかったか。拠点病院以外を蚊帳の外に置かないようにしていただきたいと思う。
- 拠点病院だけががん診療しているのか、ということにならないよう、診療や治療成績などの情報をきちんと提供できるようにしないといけないと思う。

- 拠点病院以外でも、治療成績を公表すべきと思うが、問題なのはバイアスがかからないようにすること。地域がん登録の推進を並行してやらないと、それは達成できない。
- 「適切な情報を開示できる体制にする」というように、何でも出すみたいに曲解されないような表現が必要ではないか。
- 病院から出てくるデータは、患者の立場から見たら、かなりばらついたものしか出てこないだろうと思う。このため、NPOなどが病院と患者の間に入って、情報を整理して分かりやすく提供するというようなことも、一定の役割としてあるのではと考えている。

図12、図16のがん医療連携イメージ図について

- 図16では、名前を挙げられた拠点病院だけが、がんの治療を行うように見えて、県民に誤解を与えかねない。がんばっている病院が振り落とされてしまう懸念がある。図12はかなり整理されてはいるが、やはり拠点病院しか治療はしないんだ、という風にとらえられかねない。
- 広島は10の拠点病院があり、それを中心にしてやっていくという態度は必要ではないか。
- 図12の意図としては、拠点病院だけでなくそれ以外の施設にも一緒にネットワークを組むということ、上下云々とならないよう、県の地図に機能別の区分を描いたもの。また、乳がん、肺がん、肝がんなど、がんの種別によって、絵が変わるということも併せて表したものである。
- 「都道府県の拠点病院」と「地域の拠点病院」があるのに、図では大学病院と県立広島病院が同列に見えてしまうのはどうか。
- がん計画などの策定に当たっては、実情に即したネットワーク作りを求められており、制度的な単純な仕分けでの大学病院とそれ以外ではなく、役割分担として実質的に4つの病院で連携しネットワークで「がんセンター」的な機能を担っていただきたいと考えている。

計画の性格と記述すべき内容について

- この計画を実施したときの全体としてのコストはどうなっているのか。また、「がんサロン」などもつくる、ということは書いてあるが、患者さんの数に合わせて何か所くらい設けるとか、もう少し数値がはっきりしたら良いと思う。
- 「基本計画」で国が目指すべき一つの方向を示し、それを実現していくために、県として様々な取り組みをしていくための「推進計画」であり、将来にわたってのディテールを保障するというだけでなく、目標を掲げて目指す、そこに重きを置いた計画としたい。

その他

- 広島県では精度の高い登録事業を実施しており、その理由のひとつに病理からの情報による腫瘍登録の成果がある。この広島市で確立された方法を全県に広げて精度を高めていく、という方針について、「具体的な取り組み」に記述を追加したい。
- 「対策の内容と実施主体及び目標の一覧表」という表を作って計画に載せてはどうか。(計画の内容を、項目別かつ時系列に、県や国、国民、医師、学会、拠点病院、一般病院などそれぞれが何をすべきかを表に落とし込んだもの)
- 日程的に再度の会議の開催は困難であり、本日の意見や指摘等を受けての修正については、委員長に一任する。

7 会議の資料名一覧

資料1 広島県がん対策推進計画（案）

資料2 広島県がん対策推進計画の副題（案）について

資料3 計画策定に係る協議会等の検討内容及びスケジュール